

ミャンマー少数民族の民族衣装見学と

クラフトの街マンダレー・寺院見学満載の旅

出発日：2019年11月28日(木)～12月02日(月) 5日間



募集人数 25名様(催行最少人数20名様)
旅行費用 お1人様¥270,000-
締切り日 10月04日(金)

*尚、定員になり次第締め切らせて頂き

ツアーのポイント

- *民族衣装を扱っている店で各州の民族衣装の説明。
- *サウンダース織物学校にて織り物のワークショップ。
- *マンダレーで靴・バッグ等の工房見学。
- *ヤンゴンで素敵な雑貨屋さんにご案内します。
- *ヤンゴンではシュエダゴンパゴダ、マンダレーでは山全体が聖地になっているマンダレーヒルを見学。
- *お食事も厳選しております。
- *全日空直行便を利用。



ヤンゴンの雑貨屋



サウンダース織物学校



アカ族のお店



ミャンマーの民族衣装

ミャンマーには特有の織り物・衣装があります。日本の着物、インドのサリーなど、ミャンマーのそれは『ロンジー』です。遠い昔から今日まで、ミャンマーの人たちは誇りを持ってロンジーを着続けています。ミャンマーは多民族国家で、136に細分される民族が8グループ(カチン族、カヤー族、カイン族、チン族、ビルマ族、モン族、ラカイン族、シャン族)に大別されますが、そのそれぞれが独自のロンジーの模様や型を持っています。ダイヤ形の刺繍が特徴のカチン族のロンジー、シグザグ模様といえばビルマ族のロンジー黒、赤、緑などはっきりとした色使いが目目を引くチン族のロンジーがあります。



左からチン、カチン、ハマー、シャン族カイン、カヤー、ラカイン、モン族

サウンダース織物学校

ミャンマーマンダレー市アマプラ地区は織り物産業の中心地であり、手織りの工房が残っております。織物の教育機関としてマンダレーに政府直轄のサウンダース織物学校アマプラ本校があります。1914年に創立され政府運営によってミャンマー全国に13校の分校があります。



取扱旅行社 株式会社ワールドビジネスコミュニケーションズ

旅行日程など、詳しくは裏面をご覧ください